

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

登録番号 472

ふりがな 氏名	さいとうももこ 齊藤ももこ				
所属先	所属先名称	一般社団法人daidai			
	役職名	代表理事			
専門分野	(総合対策) 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 (地域合意形成) (野生動物管理) (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) (利活用) (食肉利用等) その他 ()				
対象鳥獣	(シカ) (イノシシ) サル クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()				
対応可能地域	(全国) 北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 沖縄 その他※特定の都道府県、地域 ()				
免許及び資格	(狩猟免許) (銃：取得年 年7、 わな：取得年 9年) (鳥獣保護管理) (鳥獣被害対策コーディネーター)) 鳥獣管理士 () (その他) (獣医師、食品衛生管理者))				

活動実績	
活動期間	平成25年～令和2年
地域	長崎県対馬市
対策の種類	(総合対策) 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 (地域合意形成) (野生動物管理) (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) 利活用 (食肉利用等) その他 ()
対象獣種	(シカ) (イノシシ) サル クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()
活動の内容	①捕獲位置情報の収集体制構築 GPS機能付きカメラを利用した捕獲位置情報収集に関する体制とデータ化の体系を構築した。 ②防護柵設置状況のデータ化 既存の防護柵の位置情報を調査し、GIS上に可視化した。 ③被害状況調査の実施 アンケートならびに研修会開催による被害に関する情報収集を行いGIS上に可視化した。 ④被害対策指導 ①～③で収集したデータを可視化することで、被害と対策の現状を客観的に把握できるようにし、被害に悩む地域住民に対して防護対策や捕獲対策、集落周辺の環境整備（無意識な餌付けや放棄果樹の撤去、緩衝帯整備等）に関する適切な対策の指導を行った。 ⑤捕獲体制の構築 ④にて地域内に捕獲者がいない場合は、近隣の捕獲従事者と連携した捕獲体制の構築を促し、地域住民による主体的な捕獲対策の実施を促進した。

活動実績	
活動期間	平成25年～令和2年
地域	長崎県対馬市
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象獣種	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
活動の内容	①食肉処理加工施設の立ち上げ 対馬市において、食肉処理ならびに食肉製品を製造できる機能を持った食肉処理加工施設の立ち上げを行った。 ②解体処理に関するガイドラインの策定 イノシシやシカを衛生的に解体処理できるガイドラインを策定し、安心安全な食肉処理体制を作るために、専門家を集めた委員会を立ち上げ、手順書を作成した。また、一般の捕獲者もガイドラインの内容を理解しやすいように図や写真を使った普及資料も作成した。 ③解体処理手順指導 未経験の職員に対し衛生的な解体処理に関する指導を行い、処理場の運営体制を構築した ④食肉製品の製造指導 島内に食肉製品製造業の施設がなく、解体処理同様に経験者がいなかったため、研修や講師を招く等して、レシピの考案、製造体制の構築、商品化を行った。 ⑤皮革製品の製造 解体処理により残渣として出る皮を活用するために、鞣工場との連携体制構築、鞣した革を使った加工品製造・商品化を行った。

活動実績	
活動期間	平成25年～令和2年
地域	長崎県対馬市
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ 教育・普及啓発 ）
対象獣種	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
活動の内容	①有害鳥獣対策に関する講座の開催 島内外において鳥獣被害対策に関する技術・知識に関する講習や、有害鳥獣対策と地域活性化に関する事例発表を行った。 ②小中学校における授業 地域における野生動物の歴史、被害の現状、対策の方法に関する出前授業を行った。 ③レザークラフト講座 イノシシやシカのレザークラフト体験を通じて、鳥獣被害の現状や対策の方法を普及する講座を行った。 ④ソーセージ作り教室の開催 ジビエソーセージ作り体験を通じて、鳥獣被害の現状や対策の方法を普及する教室を開催した。 ⑤解体処理体験教室の開催 イノシシの解体体験を通じて、解体に関する技術や知識、また鳥獣被害の現状や対策の方法を普及する教室を開催した。

活動実績	
活動期間	平成30年～令和2年
地域	長崎県対馬市
対策の種類	総合対策 捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 <u>野生動物管理</u> (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) 利活用 (食肉利用等) その他 ()
対象獣種	<u>シカ</u> <u>イノシシ</u> サル クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()
活動の内容	【行政機関が連携した鳥獣被害対策の体制構築支援】 これまで対馬島内においては、基礎自治体である対馬市が中心となって農林業被害対策を中心とした鳥獣被害対策を担ってきたが、従来の対策ではニホンジカの個体数管理が十分に行われず、被害が後を立たなかった。有害鳥獣捕獲従事者による捕獲が行われていない場所や、捕獲困難区域においても効果的なシカ捕獲の実施が必要とされた。そこで、市・県・国の行政機関が連携してシカ管理を行うプラットフォームを構築し、対馬地域全体としてのシカ管理の目標や計画策定、事業に関する情報交換の場をつくる支援を行った。